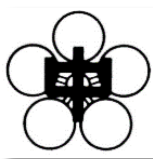


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
平成30年度 第7号
平成30年 7月13日
校長 水谷 智子

「**命を守る行動をしてください!**」というアナウンスが幾度となく流れました。この猛暑の中、西日本各地では大雨による甚大な被害が出ています。被害に遭われた方々に、心よりお見舞いを申し上げます。そのような中、3年生は京都奈良への修学旅行に行きまして参りました。全員無事に3日間の行程を終えることができ、安堵しております。1学期も残り少なくなりましたが、熱中症等にも気をつけながら、しっかりと「まとめ」「振り返り」をしていきたいと思っております。

◎3年生修学旅行

7月4日(水)～6日(金)まで、京都奈良方面に修学旅行に行ってきました。修学旅行は3年間の旅行的行事の集大成です。2年前に日程を決め、2か月前から実行委員会を中心に準備を進めてきました。前日の学年集会では、実行委員長や学年主任の山田先生から「最後を最高に」という熱い思いが語られ、みんなの気持ちも高まりました。

4日朝、十条駅を全班予定通りに通過して上々の滑り出し。東京駅の団体集合場所には他の中学校もたくさん集まっています。「いよいよ修学旅行!」の気分でした。が、7時30分の集合時刻になっても一班来ない…。心配していたところ、10分後に到着。聞けば、途中で気分が悪くなった班員がいて少し休んでいたそうです。無事に全員そろって出発することができました。

京都駅に着いた頃からは雨が降っていましたが、クラス毎に予定のバス行動を行いました。私が同行した4組は、観光客もまばらで静かな新薬師寺を訪れ、迫力ある十二神将を見学。奈良は、時折、スコールのような雨がふる不安定な天気でしたが、全クラス東大寺でクラス写真を撮ることができました。鹿せんべい目当てに寄って来る鹿

に少し怖い思いをした人もいましたが、奈良公園ならではの鹿との戯れを楽しみながら、のんびりとした



班別行動でした。

一日目の宿は、興福寺の五重の塔を望む「飛鳥荘」大広間での夕食の後は、レク係が企画したカラオケ大会で盛り上がりました。もりあげ隊のダンスもあり、みんなが自慢の歌声を披露。最後は全員で、アカペラで校歌を歌いました。班長会では「鹿のカチューシャ」が議論になりましたが、「自分たちで場に応じた正しい判断をする」ことを確認して、翌日の班行動に向けて意識を高めました。夜はなかなか寝られない生徒も多かったようです。(先生たちは、夜通し、廊下で見守っていたのですよ。)



二日目。修学旅行のメインイベントともいえる京都一日班行動。奈良を出発した頃は、大した雨ではなかったの



ですが、京都に着く頃にはかなりの大雨。伏見稲荷や金閣寺、清水寺など、思い思いのコースで寺社を回りました。巡回中に出会った加賀中生は、どの班も男女仲良くまとまって歩いていて、「楽しいです!」と言いながら、見学したりお土産を買ったりしていました。しかし、当日は「大雨警報」

も出ており、「避難勧告」を知らせる緊急エリアメールが度々鳴動するなど、安心できる状況ではありませんでした。「予定を切り上げて、早く宿に戻ってお風呂に…」と考えていましたが、17時が過ぎた頃から次々に各班が宿に戻ってきました。逆方向のバスに乗ってしまった班もありましたが、全班全員揃って無事に宿に到着し安心。京都の宿は「綿善旅館」という京都の風情が感じられる宿です。部屋で食事をとった後、念珠づくり体験をしました。夜になると、さらに雨が激しくなり、先生たちはあらゆる「想定」をしながら、翌日の準備を進めました。

三日目は朝から大雨。予定していた嵐山方面や洛北には行けなくなりましたが、和菓子作り体験をしたり、映画村に行ったりと、タクシーの運転手さんと相談しながら「予定外」の行動を楽しみました。「臨機応変」が今回の修学旅行の合言葉。予定がダメなら次善の策。気持ちを切り替えて、偶然のチャンスを楽しむことも今回学んだことの一つです。

最大の気掛かりは「今日中に帰京できるか？」ということでした。大雨のため、新幹線の運休や遅れがあって心配していましたが、1時間20分遅れで新幹線に乗り込み、その後は順調に東京に戻ってくることができました。「延泊」も視野に入っていましたので、午後7時過ぎに全員揃って無事に東京駅で解散できて、ホッとしました。ニュースでは、京都地方の大変な状況が伝えられていましたので、家族の皆様はさぞかし心配しておられたことでしょう。

今回の修学旅行を通して、3年生の成長を強く感じることができました。自主的に声を掛け合って節度を持って行動する姿は、「さすが加賀中3年生！」と誇らしく思いました。予定通りにいかなかったこともたくさんありましたが、「臨機応変」に「TPOに応じて正しく判断して行動する」「気持ちを切り替えて状況をポジティブに捉える」などは、これからの進路選択や人生において、大切な学びであったと思います。支えてくださった皆さんと素敵な思い出を作ってくれた3年生諸君に感謝して、修学旅行レポートを終わります。

◎1年生オリパラ特別授業

7月6日（金）に、オリンピック・パラリンピック教育の一環として、1年生を対象に「外国から来た人とふれ合おう」という特別授業を行いました。今回は、学校支援地域本部コーディネーター三宅様のお力添えで、東大土木同窓会ホストファミリープログラムの赤池様、鈴木様のご紹介により、東大大学院工学系研究科の留学生6名（出身国：インド・パキスタン・中国・ガンビア・インドネシア・オランダ）をお招きして、初めて会った外国人との「コミュニケーション体験学習」を行いました。

生徒たちは、英語の時間に学習したフレーズを使って、熱心にやり取りをしていました。1対1の場面なのでとにかく度胸が勝負！言葉はつたなくても気持ちは通じることを実感しました。

後半は、留学生の自己紹介を聞いたり、各班で留学生と話をしたりして、交流を深めました。一緒に給食をとる頃にはすっかり打ち解けて、楽しく過ごすことができました。

東京2020では、多くの外国の方が来日し、道を聞かれたり、写真を撮ることを頼まれたりと様々なふれあいがあることでしょう。そんな時に臆することなく、親切に「ふれあう」「もてなす」ことができると素敵ですね。

今年度、本校は「オリパラ教育重点校」の指定を受けています。外国の方とのふれあいやもてなしについて、区内の他の学校に事例を紹介し、東京2020に向けた気運を高めていければと思っています。

